

## 第9回 札幌開発建設部ダム事業費等監理委員会を開催

札幌開発建設部では、幾春別川総合開発事業について事業費・工程監理の一層の充実を図るため、コスト縮減策やその実施状況、事業の進め方等について学識経験者等のご意見を頂く場として、「札幌開発建設部ダム事業費等監理委員会」を開催いたしました。

### 記

- 開催日時 平成28年8月30日（火）10：30～12：00
- 開催場所 札幌開発建設部内会議室
- 議 題
  - (1) 事業の概要
  - (2) 平成27年度の工事実施状況
  - (3) 平成28年度の工事内容
  - (4) 主な意見に対する対応状況
  - (5) コスト縮減への取り組み



### 「札幌開発建設部ダム事業費等監理委員会」委員名簿

◎委員長（敬称略、五十音順）

名前	役職等
◎泉 典洋 いずみ のりひろ	北海道大学大学院工学研究科教授
船木 淳悟 ふなき じゅんご	国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ グループ長
向田 直範 むかいだ なおのり	北海学園大学 名誉教授
山下 弘市 やました ひろいち	元北海道土木技術会コンクリート研究委員会委員

### ◆審議結果の概要◆

- 新桂沢ダム堤体建設工事で採用した発注方式では、技術提案内容を予定価格に反映し、結果としてコスト縮減の効果があった。
- 新桂沢ダム堤体建設工事の工程について、今後は契約後の実施工程により議論することとする。
- コスト縮減の取組として示されたリムトンネル内の覆工工法変更（コンクリートからモルタル吹付に変更）については、施工時に岩盤を確認した上で対応が可能か判断すること。また、土砂等による閉塞も合わせて検討すること。
- コスト縮減の取り組みとして示された右岸監査廊内のモノレール廃止については、管理後の維持管理の観点からも妥当と考える。

（以上）